

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	明治十四年十月以降略史(創業以降 10月12日明治23年に国会開設する旨詔書「此大御詔や実ニ明治十四年ノ大記事タルノミナラス 維新以降十四年間ノ大記事」13日大隈罷免に関連した太政官人事)
2	2	1-2	「県庁第二応接所に於て聖影を拝し賀意を表し」(官衙職員の新年あいさつ)
3	2	1-2	「僅に銀行諸会社等に七五三繩松飾を為し国旗を軒頭に挿みし迄に雪は尺ばかり積み道路は甚だ悪しく各商店は戸を？シ簾を垂れ絶へて一旒の国旗たも見受けざしりは却つて平常より淋しさを覚ふ」
4	2	2-3	二日は未明より快晴にて各商店諸職工とも始業式を行ふ日なれば…初荷出し初荷配りの勇ましく喚呼ひ歩行し声は夢を破らるの恨みあるもまた心楽しく覚へたり
5	2	2-3	(玉江新地 九十九新地)
6	2	3	石黒県令には十月三十日に大阪まで着…
7	2	3	明新中学校の生徒募集期限は去月二十五日迄なりしが尚本月八日まで延期
8	2	3	嶺北四郡長の各郡長へ来る六日に参庁致すべき旨県庁より達…
9	2	3-4	新刑法治罪法を実施…当裁判所の門牌も始審軽罪裁判所 治安裁判所と書き換えられし又同庁は本日より開庁せらる
10	2	4	当福井警察署…(去る12月中江口7等警部来任)
11	2	4	(福井警察署 毎日午前 刑法治罪法の研究会)
12	2	4	又同署(福井警察署)内巡查休息室は是迄畳の敷詰めありしを江口警部の来任後は之を取除かれ室を以て台に換へられ…
13	2	4	当中学校長には林校長の新に来任せらるゝあり 師範学校にも小松教諭の来任させるゝあり 大岩教諭心得の拝命…二校一課の教員役員が午後二時より羽畔風月楼へ集会せられ新年の宴会…
14	2	4	当地竟成社にては昨夕午後四時より羽畔風月楼に於て新年宴会を開かれく弊社主幹にも島田・中根両君より招状を辱ふし則ち其席に陪したり(新年会)
15	2	4	(狂犬の撲殺12月末より昨日頃までで福井市で数100頭)
16	3	1	去冬照手座にて開演せし俳優のうち乙女家正若松の三人は当地に居残りしか今春は雪も深からず…
17	3	1	当市中の湯屋例年二日の朝湯の沸くを待つて三絃太鼓で囃子立てワイタワイ
18	3	2-1	武生通信 旧領主本多公には専ら鉄道株主募集に尽力募集係り和田彦六・佐藤正克の二氏および世話人等が付き随はれ日々武生の募集所へ出勤…(東北坂井港通信 (菅田屋 風聞))
19	3	2-3	勝山通信 (去年12月27日 旧藩主小笠原従五位侯 成器小学校内の戸長役場で演説 東北鉄道 鉄道の効益 株募集)
20	3	3	大野通信 (戸長高久元 孝行)
21	3	3-4	敦賀港通信 本港有志者山田信進・井汲収の二氏が主唱にて全郡有志懇話会を来る八日神楽町就将校に於て開かる由(法律研究 活版刷廣告文 有志者団結 知識交換 公利公益)
22	3	4	高浜通信 (三松村琢志小学校余米清吉・浜田安次郎 無欠席 学業勉勵 滋賀県令が小学校巡視の際の臨時試験で表彰 書籍代下与)
23	4	1	社告 (印刷長但新聞紙掛り杉山義三郎 編集長八田春二 印刷長木村豊吉)
24	4	1	(阪井港通信者栗澤基 辞職)
25	4	2	(新年祝辞 中川裕順 福岡県士族山田信太郎 福井大和中町醤油商伊東卯兵衛 尾上中町森田義)
26	4	2-3	広告(福井大和中町時計師 山田半右衛門 第九十二国立銀行 酒田本町物価飛報社 大阪東区薬劑本舗吉田宗三郎)
27	4	3-5	物価(福井米価[明治15年1月3日] 新米1表[4斗6升]上3円50銭・油・石田縞等)
28	4	5	本社新聞定価 一枚一銭八厘 一ヶ月前金四十二銭 三ヶ月前金一円拾銭…(市外郵送)
29	4	5	報告料(広告料 1行17字詰 1行から20行迄 1行に付金3銭 1週間以上1割引 1か月以上3割引)
30	4	5	紀元二千五百四十二年一月四日 太陰曆辛巳十一月十五日 みづのとう
31	4	5	(気温 明治15年1月3日寒暖計正午 47度(8.3℃))
32	4	5	

記事番号	面	段	記事
1	1	3	明治十四年十月以降略史 十一月三日(福井県庁の新築落成 開庁式)
2	1	3	明治十四年十月以降略史 五日(北海道札幌米麦共進会褒章授与式 大和の老農 若越11郡で農談会)
3	2	1-2	福井監獄署も落成移転の後未だ日浅く(1月1日 受刑者の昼飯には油揚げ 夕飯には鯉を菜に添え)
4	2	2-3	去る三日は福井にその社ありと知られる竟成社の新年宴会にて風月楼の店頭には紅白の幕を張り国旗を揚げ午後第四時かねて招請申上げたる松平正四位(茂昭)公の御来臨(毛受洪 中根牛介 島田重民ほか 社長演説「竟成社開筵演説ノ概意」)
5	2	3	(赤心社新年宴会 風月楼 福井旧知事正二位[老君](春嶽)公名付けられし程の因)
6	2	4-1	(学務課・師範学校・中学校新年宴会 千金楼に変更 出席者 小浜師範学校から明石 田中の2氏 教育上書籍館の設立急務等評議)
7	3	1	(元大工町監獄署 脱獄2名 行方不明)
8	3	2-3	(毘沙門村 足羽川堤防工事 石塚から慶長元年十二月二日と刻まれた石地)
9	3	4	(警察 東郷分署 明治14年の春初めに設置 新築準備)
10	3	4	武生通信 (戸長ドンのドンの字は鈍な字かは知らねども 武生聯合会 去る12月21日開会)
11	4	1	敦賀港通信 (井上鉄道局長 去12月30日来着 同港より麻生口までの汽車は5日から往復法九を始めらる由ほか)
12	4	1	丸岡通信 (賭博 売淫)
13	4	1	粟田部通信 (昨13年6月中村会開会后 開会の沙汰なく 戸長との等閑)
14	4	1	正誤(師範学校・中学校人事 明石力 高橋貫一 武井音次郎 小松利修 大平勘吉)
15	4	2	仏教講談会(円宮寺 武生敬愛社)
16	4	5	(気温 明治15年1月3日寒暖計正午 48度(8.8℃))

明治15年1月7日 第50号 (新聞管理番号051451)

記事番号	面	段	記事
1	1	2	明治十四年十月以降略史(11月12日 横浜生糸荷預所と内地居留外商との紛擾 我各地生糸家は無論諸商売等に大に応援 福井勝山坂井港等の商法会も会
2	1	2	明治十四年十月以降略史(11月17日 福井の有志 10月12日の国会開設の聖勅に感じ 団結の趣意 懇親会)
3	1	2	明治十四年十月以降略史(越前旧藩諸華族東京より福井に来られ 東北鉄道会社創設 12月を経てなお越前に滞留…)
4	1	2	(福井連合会 明後10日より開会)
5	2	2-3	(福親社結成 本県出身の東大医学部卒業佐々木曠氏福井帰省 福井出身の医学部就学・卒業者により結成 会員は山脇登称太 大西小三太ほか33名通祖父 同会規則)
6	2	3-4	(一昨5日 師範学校・中学校教員諸氏の集会談議 輔仁会蔵書室創設の事 会則起草委員公選)
7	2	4	(二上村山林改正の紛擾)
8	2	3	武生通信 (戸長役場 触 間違い)
9	3	4	坂井港通信 (農業嫌い 田地売却 鉄道株加入せんと)
10	3	4-1	大野通信 (当地病院に田村英哉氏来院され医療状態改善 当市有終学校在勤教員 いずれも非常の勉強 学区内より慰労金)
11	4	1	勝山通信 (成器小学校始業式 3日 生徒四百九十余名 小笠原従五位公演)
12	4	1	鯖江通信 (愛郷社 社の名義で鉄道株若干を出し発起者たるの権を得ようとする説 討論)
13	4	2	(福井始審裁判所 召喚状その他書類送達 賃銭表 福井市内3丁内 金1銭)
14	4	3-5	物価(福井米価[明治15年1月7日] 新米1表[4斗6升]上3円50銭・油・石田縞等)
15	4	5	(気温 明治15年1月6日寒暖計正午 48度(8.8℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	新年述懐読者諸君二問フ(立憲政体の詔書 各村各郷各郡各国より大合して全国中の一大政党となるものなれば まず各小区分に於て固く凝結し漸次進んで大塊と為すにあらざれば…)
2	1	2	(地方官諮問会で上京の石黒県令 昨朝帰県)
3	2	2	大津敦賀間の鉄道線に用いらる客室はすべて英国製に模擬さるる由にて目下製造中なりと
4	2	2	(大和国老農中村氏 農談会 丹生郡で篤志者もつとも多く 西田中村等覚寺大森村引接寺)
5	2	3	(福井有志懇親会 第2總會)
6	2	3-4	(東京越前親睦会規則 要旨)
7	2	4	(福井 木田葵町[元新屋敷中町]の橋板落下 ことも怪我)
8	2	4	(福井病院 役員教員新年会 佐々木曠氏演説 高桑副院長 宮永教諭数名席上演説)
9	3	1	(福井春山中町[元岩井町]野口伊助氏 町内備荒貯蓄 九十一国立銀行へ)
10	3	2	(人力車夫 無提灯(無灯火)で拘引)
11	3	3	金津通信 (どこもかしこも懇親会演説会とあたかも一種の流行物の如く演説会 秀真広等学術演説会 演題は国会の準備)
12	3	3	勝山通信
13	3	4	武生通信 (カケス(売淫女)取締り)
14	3	4	坂井港通信 (喜宝町 巡查 醉漢介抱 平木町貸座敷通仙楼)
15	4	1	稟告 加越新道牛ノ谷駅 一新講社定宿 位能上喜代志
16	4	2	(福井元片町 道具商 益永茂三郎)
17	4	2	(改姓報告 服部改め 葛谷辰五郎)
18	4	3-5	物価(福井米価[明治15年1月8日] 新米1表[4斗6升]上3円50銭・油・石田縞等)
19	4	5	(気温 明治15年1月7日寒暖計正午 45度(7.2℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2	修身ノ要ヲ論ス(其一)
2	2	1	(中村藤三郎 本県9等警部に転任)
3	2	2	(滋賀県下長浜より木ノ本までの鉄道線路 7マイルはすでに竣工せりと)
4	2	2	(大津長浜間の汽車に代用する汽船 機関が英国からこの程出来 該汽船運航も間近)
5	2	2	明十一日は新築晩成校の開業式・・・
6	2	2	(8日 福井有志懇談会 議長公選 本多鼎介 社則第1条 皇室を擁護し国民本分の権利義務を全うし国家の元気を養成するにあり を可決)
7	2	3	(足羽川浅水駅 朝洪水 車軸が没するほど)
8	2	3	去る七日の夜は当市一般は徹夜 12時ころから爆竹 黒煙天をみなぎり 左義長 有害無益物にして開明の今日には弊の字附の習慣)
9	2	3-4	(当県庁官員親睦会 続報)
10	2	3	敦賀港通信 (石黒県令 4日当港へ入津 井上鉄道局長の官宅を訪問 東北鉄道起業の事件について熟談)
11	2	3-4	勝山通信 (第二回勝山交詢会 小笠原長育公臨席 演説者氏名・演題)
12	4	1	鯖江通信 (当地の爆竹は去る7日 消防方出初式 降雨 例年より盛んなるは博奕のみ、愛郷社 惜陰校にて 鉄道株式応募は不可)
13	4	1	粟田部通信 (博奕 小学生徒にも伝染、カルタ等密売 野岡村戸数100余 政談社設立の動き)
14	4	2	稟告 (福井・小浜中学生徒募集 福井80名 小浜50名 入学願書 履歴書 証書書式 試験科目 読書国史略講読 作文私口文 数学単比例)
15	4	3-5	物価(福井米価[明治15年1月9日] 新米1表[4斗6升]上3円50銭・油・石田縞等)
16	4	5	明治十五年日曜日一覽表
17	4	5	(気温 明治15年1月9日寒暖計正午 45度(7.2℃))

明治15年1月11日 第53号 (新聞管理番号051454)

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	修身ノ要ヲ論ス(其二)
2	2	2	福井師範学校及び中学校本日より始業・・・
3	2	2	(坂井港通信 警察人事修正)
4	2	4	男女混浴の醜穢・・・(当市佐佳枝中町 扇湯)
5	3	2	客年は照手町の照手座がえらい人気 大平座もこれにあやからんと・・・
6	3	2-3	武生通信 (今立郡庄村・塚町・横市 唐呂川井堰 昨年旱魃の際争論)
7	3	3	大野通信 (新年の景況 花柳社会は旧籠金融の逼迫 不可思議な伝聞)
8	4	1	金津通信 (坂井郡桑原村専念寺 学術演説会 坂東駒五郎「人は万物の霊なる説」 新道次郎右衛門「政党の主義」 秀真広「国会の趣意」)
9	4	2	物価(福井米価[明治15年1月10日] 新米1表[4斗6升]上3円50銭・油・石田縞
10	4	4	(気温 明治15年1月10日寒暖計正午 55度(12.8℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	福井新聞読者諸君ニ質ス(政党の団結 結社 志士の前導に賛成すること また甚だ少なし)
2	2	1	(旧隴大野裁判所詰 元福井裁判所17等出仕山口周一氏 昨日赴任)
3	2	1	福井中学校は例年昨日より始業の筈のところ…(地方税からその費を支出する県立の中学校となり 校内諸規則・教場の掟等多少改正 4・5日は開校延引)
4	2	1	(旧隴より会議 福井営業联合会)
5	2	1	(在福井の医生・調薬家等その他衛生に志ある者 毎月1回集会 保健会)
6	2	1	去月20日福井病院を辞して福井の獄に下りたる杉田定一氏は宝永町の新築監獄へは移らずして大工町の監獄分署に禁せらるゝ由…(食物等差入れは許されず、書類は政談の翻訳類は無論和漢書にても悲憤慷慨の語気あるものは入れられざるやの話)
7	2	2	(坂井郡安沢村の矢尾八兵衛氏 平生杉田氏を愛慕 入獄前に一度面会したいと病院を訪問も…)
8	2	2	(当市豪商三好助右衛門子息 八五郎 共積社創設)
9	2	3	(昨10日より坂井港へ往復する安居船 切石その他の物品を積み 転覆)
10	2	3	(本日佐佳枝町 晩成小学校の開業式)
11	2	3	(人力車夫頓死続報)
12	2	3	(客12月 芸妓営業者はその軒端に自己の姓名を記した提灯掲示の達 提灯は元片町櫛屋さく 元一乗町田端の小由 馬場では水野屋お玉などは提灯はさておき行灯も点らざる由)
13	3	3	勝山通信 (士族183名 共同社を結び 就産の方法 8日総会)
14	3	4-1	(当地士族寺島知義 福井城本丸、馬威の古式など細々と昔のさまをそのままのものし これに図を加へし一書を編集局へ 書中抜粹 本丸天主のこと 正月14日左議長のこと)
15	4	2-3	物価 (福井米価〔明治15年1月11日〕 新米1表〔4斗6升〕上3円50銭 油 石田縞糸入上等132・3円 並115・6円)
16	4	4	(家督相続告知 足羽郡荒木村 青山理左衛門)
17	4	4	(気温、明治15年1月11日寒暖計正午 55度(12.8℃))

記事番号	面	段	記事
1	4	2-3	修身ノ要ヲ論ス(其三)
2	2	2	(昨11日 福井高等小学科(晩成小学校)始業式 詳細・告示等は3-4面)
3	2	2	(客臘既報 尾某他数名の有志 牛馬病院設立の動き 毛屋町屋根屋方にて大治療会を準備)
4	2	2	(有馬・小笠原・土井・本多の諸華族 旧臘丸岡・勝山・大野・武生へ おいおい福井へ御還り 小笠原公のみ遅れて昨夕帰福)
5	2	2	(東北鉄道発起各華族方 五嶽楼にて 今後の順序相談)
6	2	2	(吉田足羽両郡の勸業有志懇親会 明13日 五嶽楼)
7	2	2-4	(福井佐佳枝3か町連合 晩成小学校開業式のように 花門に国旗を交差 紫の幕 春嶽の扁額晩成 多賀少書記官遅刻 告示(福井県少書記官多賀義行))
8	3	1	(在東京 越前親睦会開業式 浅草井生村楼)
9	3	2	小浜通信 (遠敷郡役所 昔のお代官所へ出しごとき心地 気遣はしい 戸長有志者 県令へ建白の動き)
10	3	2	武生通信 (松本晩翠・龍泉寺雪堂ほか10名 旧藩主本多副元公、南条今立両郡の鉄道株主は追々取りまとめ 豪農森広三郎氏の動向)
11	3	2-3	鯖江通信 (東小路の士族渡辺紘 学識 何新聞を読めるやと問われたれ
12	3	4-1	一月十一日高等小学校始業ノ式場ニテ生徒諸君ニ告グ 勝山香里(勝山千百
13	4	2-3	物価(福井米価[明治15年1月12日] 新米1表[4斗6升]上3円45銭 油 石田縞糸入上等132・3円 並115・6円)
14	4	3	稟告 有志懇親兼議会 護法社本局 足羽郡三十八社村常照寺
15	4	4	(15日、衛生保健会開会式 千金楼 福井県保健会幹事堀運平 木下克二 小沢重吉)
16	4	5	(気温、明治15年1月12日寒暖計正午 55度(12.8℃))



記事番号	面	段	記事
1	1	2-1	人ノ光陰を強奪スルノ弊ヲ論ス(時間厳守 晩成小学校開校式の開会遅延)
2	2	2	花房代理公使(花房義質)には本月中に再び朝鮮へ赴任・・・
3	2	2-3	(福井中学校 16日午前10時開校予定)
4	2	3	一昨十二日本県地租改正掛の吏員が山林原野改正の実地調査済になりしより其祝杯・・・
5	2	3	(福井 元若井町 備荒貯蓄続報 20銭から5円まで応分に釀出)
6	2	3	(福井 当市塩町 富田惣七郎 竟成社新年会式上 東北鉄道100株2500円加)
7	2	3-4	(坂井郡波寄村杉田正寅 東京より帰京 監獄署で面会のようす)
8	2	4	二・三日跡より撲殺者五・六名を雇ひ犬狩をはじめられし由・・・
9	2	4-1	(足羽郡毘沙門村 溜池 真紅なる怪物 遊泳 3尺5寸の大緋鯉)
10	3	3	(神宮寺町までぶらぶら遊歩 同町清水の角より孝顕寺の角まで チョン髻頭を20余名見受けた 頑固連の多き)
11	3	3	勝山通信 (去9日 有志者新年宴会 翠雨楼 小笠原公招請 安田亥三 木下兼祐 知事演説)
12	3	4	鯖江通信 (鉄道線路の測量 昨冬南条郡北府村から鯖波辺、丹生・南条・今立3郡 しばしば農談会 鯖江万法寺において 連合農談会)
13	3	4	(岐阜病院長 土屋寛氏 武生へ出張)
14	4	1	(寺島知義著書続報 抜粋 馬威し 馬威しのようすを描いた屏風 鷺塚村久保家に所持 加賀山中薬師堂に額)
15	4	2-3	物価 (福井米価〔明治15年1月13日〕 新米1表〔4斗6升〕上3円45銭 油 石田縞糸入上等132・3円 並115・6円)
16	4	3	稟告 本県巡査募集広告 警察本署
17	4	5	(気温、明治15年1月13日寒暖計正午 48度(8.9℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	3-1	租税略論第一
2	2	2	(内国通運会社 中仙道北陸道筋の大雪により 運賃2割増)
3	2	2	(東北鉄道関連で滞留 本多公 一昨13日帰京 有馬・土井氏は明16日)
4	2	2-3	(東北鉄道関連 福井旧藩主松平(茂昭)公 22・3日ころ帰京 中川祐順氏へ代理を委任)
5	2	3	(千本久信氏へ 東北鉄道創業費募集会計を委嘱)
6	2	3	(明16日 福井中学校開校式)
7	2	3	(福井士族大島弥太郎氏 4等巡查拝命 袷着用 藹然古色を帯び却つて雅致ありとの評)
8	2	3	(昨日暴風雪 本県庶務課往復掛詰所 硝子(ガラス)障子が吹き飛ぶ)
9	2	3-4	当市小学校の建築は何れも美事(なかでも巨擘は佐久良・元泉(原泉)・錦および新築の晩成 錦と佐久良合併の動き)
10	2	4	(一昨13日 本願寺別院 輪番山崎照天師会主にて新年会)
11	2	4	(土佐高知 民権家有志 明義集会という尊王党結成)
12	2	4-1	(陸軍伍長小原弥惣八(国会開設運動に対する政府の拒絶的対応に抗議・割腹) 修正記事 宣告書(禁獄か1年))
13	3	2	(太平座演劇 今晚が幕 旧照手座演劇は2500円ばかり損失 次は武生に居る和歌太夫一座を買う 協議中)
14	3	2-3	(6・7日 仏教講談会の演者・演題)
15	3	3	勝山通信
16	3	4-1	大野通信 (以文会 吉田拙蔵・横田莠ほか 風俗矯正 知識交換 7日新年会、面谷鉦山の近年衰退 鉦山師杉村次郎氏 採掘資金集の動き)
17	4	2-3	物価 (福井穀物会社[明治15年1月14日] 新米1表[4斗6升]上3円45銭 油 石田縞 糸入上等132・3円 並115・6円)
18	4	5	(気温、明治15年1月14日寒暖計正午 45度(7.2°C))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	修身ノ要ヲ論ス(其四)
2	2	1	(去12・13日、丹生郡北部聯合農談会 大森村内田関三郎ほか3人発起)
3	2	2-1	(福井中学校開業式 概況 県令告示 松平茂昭祝詞 家扶武田正規朗読 本 社主幹祝文)
4	3	1-2	(福井營業聯合会 營業稅賦課方法 何一つ決することなく只議論のみ)
5	3	2-3	(福井花月下町[元東青屋町]集会 新町名の不便 旧名に復せんことを出願せ んことを協議)
6	3	3	(花月小学校区変更をめぐる集会)
7	3	4	(一昨15日 保健会開会式)
8	4	2-3	物価 (福井穀物会社[明治15年1月16日] 新米1表[4斗6升]上3円45銭 油 石 田縞 糸入上等132・3円 並115・6円)
9	4	3	阿加陀円 越前柳原阿加陀円本舗 服部吉右衛門
10	4	4	代言広告 福井佐佳枝上町 山田口
11	4	5	(気温、明治15年1月16日寒暖計正午 42度(5.6°C))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	租税略論第二
2	2	2	(福井病院薬局帖山本普氏 兼医学教場5級教諭)
3	2	2	(本県元1等警部西長利氏 典獄兼警部)
4	2	2	(一昨16日 嶺南の郡長・郡書記出庁)
5	2	3	(福井中学校の改正教科英語の部 ウィルソン氏フライマールなど教科書名)
6	2	3	(福井中学校は明19日より始業)
7	2	3	(福井営業联合会 一昨16日夜 建議案修正委員8名選出)
8	2	4	(福井警察署巡查并監獄署詰吏員 撃創会 メン・小手の声)
9	2	4	(去14日 五嶽楼 足羽・吉田両郡の勸業有志懇親会)
10	2	4	(坂井郡鷺塚村富田勘助氏宅 林佐太郎会主 学術演説会 正田初蔵 秀真広)
11	2	4	(去13・4日 風雪 木の芽嶺も一時往来が止まる 本多副元氏人夫を駈って通貨積雪7尺)
12	2	4-1	(長寿者 松岡本極町白崎万右衛門祖母90歳ほか1名)
13	3	4	(大阪府下・大和国 天然痘が流行するよし)
14	3	4	(去10日 大野病院において新年宴会)
15	4	1	勝山通信
16	4	1	丸岡通信 (旧藩主有馬公 70歳以上の男女を旅館に召集の予定のところ にわかに出福 酒餞料若干)
17	4	2-3	物価 (福井穀物会社〔明治15年1月17日〕 新米1表〔4斗6升〕上3円45銭 油 石田縞 糸入上等132・3円 並115・6円)
18	4	4	学事用簿 出版所 福井旧神明丁佐々木忠順 売捌所新橋北岩永次郎助・大野一番丁鈴木重明
19	4	4	(有志懇親兼議会 足羽郡三十八社村 護法社本局 常照寺)
20	4	4	(気温、明治15年1月17日寒暖計正午 42度(5.6℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	梅蕾をシテ空ク風雪ニ凋マシムル莫シ
2	2	1	(福井旧藩主松平正四位公(茂昭)さしてし積雪なく)
3	2	1-2	(旧士族 とくに赤心社などは 浅水・武生・今庄まで見送り)
4	2	2	(県令会主 風月楼 松平・有馬・土井の諸華族 書記官 各課長 盛宴)
5	2	2	(県庁新築に 松平正四位公 300円贈与されるよし)
6	2	3	(近来米国種の琥珀苧粟などをもって砂糖製造 千本・勝木・立根・奈良・岡田・望月等諸氏 手寄町の元官倉を借受け白砂糖製造)
7	2	3	(本年3月1日より京都博覧会 京都はとは距離も近く運輸の便利も大によろしく 本県にては一層他の府県の博覧会よりは出品を奨励)
8	2	4	(東郷警察分署 新築の動き 署長評判)
9	2	4-1	(当地病院・医学校・衛生課員有志発起 保健会諸言)
10	3	1	(福井県庁新築への寄附金 合計7000円 なお阪井港より陸続寄附)
11	3	1	(昨17日 羽山晴嵐亭において嶺南懇親会 県官添田・田畑2氏 常置委員の藤田・魚住ほか)
12	3	1	(福井 旧町名復旧の論 続報 旧を希望7分 新町名が3分)
13	3	1-2	(福井授業所の始業式 芸妓)
14	3	3	(玉江新地の万金楼 出稼の娼妓)
15	3	3-4	武生通信 (月掛講流行 この程発起の誠信講は北野神社の分霊を受けて当市並木町へ一祠宇を建築する見込み)
16	4	1	勝山通信 (去15日 勝山地方教育大会 成器小学校 大野と連合 毎月1回)
17	4	2	県庁新築寄附金姓名録
18	4	3	物価 (福井穀物会社[明治15年1月18日] 新米1表[4斗6升]上3円45銭 油 石田縞 糸入上等132・3円 並115・6円 坂井港物価表)
19	4	4	(気温、明治15年1月18日寒暖計正午 42度(5.6℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-1	公諫ノ利害
2	2	2	(明後22日より大阪府にて警察会議 福井警察署江口警部 警部補並木立弥2氏出張)
3	2	2	本県常置委員会(去16日 医学所組学校教師雇入れ 官倉払下げ 中学校書籍器械買入等)
4	2	3	(福井中学校開校式 松平茂昭公 生徒一同にみやげ金 昨日饅頭に換え各生徒へ5個づつ配与)
5	2	3	(福井 団結の一なる共鶴社 仮事務所を本浜町名村竹次郎 毎月15日討論会 去14・15日末広村増田某の招きに応じて社員6名 主計小学校へ出張 16日庄野村文峯小学校 17・18日鋒崎小学校学術演説会)
6	2	4	(名村寄留の演説家 千々和護三氏(福岡の人)等数名の発起 福井に私学校創設の動き 政治学)
7	2	4	(福井 佐佳枝3か町 有志懇親会 元浜町千金楼 富田氏晩成小学校維持法について演説)
8	2	4	(河津琴屋(河津直入(祐淳))翁 国学者 福井に和語に明らかなる人少なきを憂え琢言社創立 2月12日初会)
9	2	4-1	(福井 照手中下町戸長 和木本久右衛門 営業聯合会でも委員 家事都合により辞職)
10	3	1	(仏具盗難 昨18日福井 花月上町三学院)
11	3	2	(加賀屋座 この程より朝寝坊夢楽という昔話 太平座旧臘の繁栄に引きかえヒッソリ)
12	3	2-4	(丹生郡西田中村田島与三五郎妻 奇特 賞金1円 福井県)
13	3	4	武生通信 (丹生郡上池田村 成志社福岡亀二郎・大橋藤吉の2氏会主 福井より吉田順吉・千々和護三の2氏招聘 該郡有志自由懇親会 県会議員山本喜平演説 杉田定一氏の不幸を懇々縷述 実に村落にしてかくのごとく盛会は余の未だ見聞せざる処 豈我福井県イナ日本国民の爲に大賀せざるべけんや)
14	3	4-1	敦賀通信 (去8日 当市神楽町就将小学校 全郡大懇親会 発起人山田進信)
15	4	1	牛肉の滋養物たるは皆人の知る処にして…(牛肉ではなく馬肉)
16	4	2	県庁新築寄附金姓名録(前号続き)
17	4	2-3	稟告 (来る22日第三大懇親会 共之会)
18	4	3	職工女募集広告 福井毛矢町職工会社
19	4	3	大岩貫一郎序 至善堂棗才兵衛著 世俗日用 撰生の早道 売捌所 錦中町森下元治郎ほか15か所
20	4	3-4	物価 (福井穀物会社[明治15年1月19日] 新米1表[4斗6升]上3円40銭 油 石田縞 糸入上等127・8円 並105・6円 坂井港物価表)
21	4	4	(気温、明治15年1月19日寒暖計正午 42度(5.6℃))

記事番号	面	段	記 事
1	1	2-3	租税略論第三 収税ノ公平
2	2	2	(松平茂昭公 昨30日(マヽ) 午前9時泉邸出発 見送り赤心社 今庄泊)
3	2	2	(松平茂昭公 御車夫は三十八社村から 湯の尾まで車(人力車) 3人の車夫は 輿夫と変じ 塩津まで)
4	2	2	(松平茂昭公 見送り人 公に勤仕せられし老人達と見え 股引脚絆に草鞋 武家の旅行そのままの行装)
5	2	2-3	(松平茂昭公 帰東に際し東北鉄道約定済の応募金 19日までに60万円 足羽郡の村落にては23万5千円)
6	2	3	(去る17日 福井師範・中学校両校兼務 芦田碩 武井音次郎)
7	2	3	(福井教育会 2校1課の会合 教育有志が一個人の資格にて集会)
8	2	3	(教育会 熱心 横山学務課長ほか)
9	3	4-1	(小浜中学校 生徒も50名募集 頗る盛大 その位置は竹原村 東方郡役所隣り 大きさは福井の桜小学校程 建築法はなほだ拙劣 教場配置方頗る不都合 英書綴字書1冊もなき位 授業は午前8時開始 午後1時半終業 去る16日より授業開始という)
10	3	1	(旧臘照手座の演劇 好劇家のシャレ 敦盛熊谷ではなく見積も損い 曾我物語りではなく損の物語たり)
11	3	1	方今の流行ものというは懇親会・親睦会新年宴会・談話会・討論会・演説会・聯合会・町村会・芸者買・と凡そ会の数は浜の砂子否干潟の貝よりも多く…
12	3	2	(当市旧臘より演劇大流行)
13	3	3	武生通信 (進脩小学校教員・学務委員・戸長50名余 経王寺にて親睦宴会)
14	4	1	勝山通信 (当地生糸・煙草の盛んなるは輸出額の8・9分を占める程 煙草の品位はだんだん粗悪 商法会にて甲斐良規則 生糸商社 松井文吉 石上茂兵衛 松井文助等)
15	4	1	大野通信 (当市女紅場は 客年11月閉場 去る13日郡役所にて再設懇諭 東三番町遊集庵(人寄席)を借りて開場)
16	4	2	県庁新築寄附金姓名録(続き)
17	4	3	稟告 (第九十一国立銀行 第7回利益割合広告)
18	4	5	物価 (福井穀物会社〔明治15年1月20日〕 新米1表〔4斗6升〕上3円40銭 坂井港物価表)
19	4	5	(気温、明治15年1月20日寒暖計正午 42度(5.6°C))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	再び「クラブ」開設ノ功益ヲ論ス
2	2	1-2	(鯖江通信続報 万法寺 聯合農談会 勸業課より関御用掛出席)
3	2	3	(九十九橋 面白くおかしく手品などして玩具の類商売 車馬の通行の妨げとなる 拘引の上罰金)
4	2	3	(福井県監獄署 春臼10数基 上白運搬費とも8銭)
5	2	3	(福井 元館矢町心月寺 盗難)
6	2	3	(福井 高尾屋近傍京町の藍町入口 泥田ような悪道)
7	2	4	(県新監獄署 囚人8名 脱獄 暴風雨に乗じて便所を打ち破り逃走)
8	3	1	(玉井新地繁昌一方ならず 品川楼開業)
9	3	1-1	武生通信 (元寺町演劇場 大阪俳優 3日目より役者の数ほども入りがない 半価にて夜演劇へ)
10	3	2	大野通信 (大野病院の概況 田村英齋院長 一日120人から少なくとも90人 薬売上高1か月100円以上 大野16か町営業聯合町会)
11	3	3	坂井港通信 (竹山仁吉氏 演説等開場 当地人民の未だ卑屈の夢の覚めざるにや 権利義務を唱ふる者を称して破財家とし 自由をいう者を乱暴と称す 覚善村演説会 竹山仁吉 岡崎長左衛門 前田新平3氏を会主 木津氏 秀真氏演説 東北鉄道株募集 世話掛森田三郎右衛門 本港へ鉄道本線設置の沙汰流
12	3	4-1	投書 疎暴論者ノ害毒 吉田順吉
13	4	2	県庁新築寄附金姓名録(前号続き)
14	4	3-	物価 (福井穀物会社[明治15年1月21日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭 坂井港物価表)
15	4	5	(気温、明治15年1月21日寒暖計正午 42度(5.6°C))



記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	再び「クラブ」開設ノ功益ヲ論ス(続き)
2	2	2	(県警察人事)
3	2	2	(金沢の旧藩主前田公 客年7月以来金沢滞在 東北鉄道創業尽力 東北鉄道会社福井事務所 株主盟約済分80万円)
4	2	2-3	(本県地理課山林掛)
5	2	3	(新監獄署脱獄 続報)
6	2	3-1	(福井団結の基礎 共之会第3懇親会 大谷派本願寺別院にて 仮会頭本多鼎介氏 共之会には自由の文字を厭う人も多く 共之社原案諸言 会則 第一条 皇室を擁護し国民本分の権利義務を全うし以て国家の元気を養成するを主義と
7	3	2-3	(編集長八田春二 福井軽裁判所より召喚状 坂井港通信をめぐって告訴)
8	3	3	大野通信 (去る19日当地鈴木善左氏会主 中野小学校にて 学術演説会 有終小学校教員吉田左一郎 戸塚庄次郎 富田房吉ほか 方今流行せる演説の景況位は珍らしくもないが本地人の本地にて演説会を開きしはこれが権与なるを
9	3	3	鯖江通信 (斎藤与一郎氏発起人 鯖江万法寺にて去る20日農談会)
10	3	4	敦賀通信 (賭博取締)
11	3	4	勝山通信
12	4	1	投書(小林有作父嘯峯翁 慶永(春嶽)誄文 富田厚積)
13	4	2	県庁新築寄附金姓名録(続き)
14	4	3	広告 (算者20名至急入用 福井県地券掛)
15	4	3	(新年挨拶 二松学舎在 加藤易之助)
16	4	3-4	出版広告 吉村禎一 川地愷編集 日本新旧刑法合纂 福井佐久良中町 文栄堂(人物イラスト)
17	4	5	物価 (福井穀物会社[明治15年1月23日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭)
18	4	5	(気温、明治15年1月23日寒暖計正午 49度(9.4℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	謹ンデ福井ノ有志者諸君ニ一言ヲ呈ス(福井県下政党団結萌芽)
2	2	1	(今般 当裁判所 始審裁判所を西の方に新築 100円以下の控訴は大阪上等裁判所へ行くに及ばず)
3	2	1-2	(新紙幣 神功皇后 印刷局御雇教師キヲソーネ氏の手 贖札)
4	2	2-3	(編集長八田春二(鯖江上小路士族) 裁判 裁判言渡書 刑法 誹毀 重禁錮 20日 罰金7円)
5	2	3	(杉田定一 獄中 書籍差入れ 各国憲法 民約論 泰西史鑑等)
6	2	3	(福井県監獄署 本願寺別院山口照夫氏 説諭)
7	2	3-4	(福井町村連合会 福井元山町成覚寺)
8	3	2	(当市に 今盛んなる猫的(べうてき)某の着物 壁織とか浜縮緬とか)
9	3	2-3	(福井病院長 肥後熊本の人 河野衛氏 眼科手術 全癒)
10	3	3	(福井 時鐘 古来よりゴンゴンと3つの捨鐘の後5時なり6時なりを報ずるの例 捨鐘とは無益)
11	3	3	(中小屋太平座にて評判の実川市蔵 大阪脱走 至急帰阪)
12	3	4	坂井港通信 (開明楼にて新年親睦会のようす 以後毎月開会)
13	4	1	金津通信 (中番村竜雲寺にて学術演説会 当駅十日町説教所 学術演説会 警察官も出張ありて 辺鄙には随分盛会)
14	4	2	広告 (奇功散 即能散 勝山芳野町 芳埜堂 松田裕泉)
15	4	3	学事表簿用紙 書肆武生幸町吉川作治郎(売捌所 県下7か所)
16	4	5	物価 (福井穀物会社〔明治15年1月24日〕 新米1表〔4斗6升〕上3円35銭)
17	4	5	(気温、明治15年1月23日寒暖計正午 53度(11.7°C))

記事番号	面	段	記事
1	1	2	送前編集長八田春二氏出法廷 一月廿四日 仮編集長加藤捨吉手記
2	2	2	当県監獄署看守渡辺直記、宇野実、荒川喜六の三氏増給の恩命あり
3	2	2	当市松ヶ枝中町南部友房氏は看守奉職中事務勉勵につき手当金として金六円
4	2	2-3	客年は当県会を大谷派本願寺別院または蓮正寺にて開かれたるが…愈々当市佐佳枝上町元女子師範学校を以て県会議事堂と為すに定まり…本年の通常県会の前には是非成功の筈なりとか聞く
5	2	3	本社前編集長八田春二は一昨日処刑申渡の後新監獄署へ護送されそれよりして大工町監獄分署へ護送せられ…杉田定一氏とは同室にあらず…
6	2	3-4	八田春二が筆禍をもて獄に下りしを憐察ありその見舞いとして第九十二国立銀行手代中よりと記して金三円を贈与せられ毛矢町の薬舗棗才兵衛君より…(政治書籍や牛肉鶏卵などに換えて差し入れしたいが難しく出獄の日まで金庫で預
7	2	4	昨日の午後一時頃当市元片町青柳樓の角にて…売油漢が油の荷を頓り覆
8	2	4	間違へば間違ふものだよ(前号の続き)上森田村の巖教寺は…
9	3	2	坂井港通信(狂犬の徘徊 千歩寺村客年十二月中時疫流行し廿余人が病死)
10	3	3	勝山通信(オミツの奇談 一昨日の続き)
11	3	3-4	武生通信(武生公立進修小学校明治五年創立以来年々生徒も増加して…在京の某先生を招聘し校長として一層の教育の隆盛を計らんと…一人の校長を高給にて聘せんよりむしろ十円以上の卒業生を聘する方實際生徒の教育に益あらんと云ひ…)
12	3	4	敦賀通信(浪花町布袋湯にて騒ぎ)
13	3	4	金津通信(井江葭村松本無染氏が発起者となりて本月廿三日午後該村安養院に開きたる近郷親睦会は各村より来集ありし…)
14	3	4	投書 法律上制裁ト道德ノ制裁ヲ論ス 福井 川地■稿
15	4	2	広告 奇功散 即能散 大野郡勝山芳野町 芳野堂 松田精製
16	4	3	第九十一国立銀行第七回利益割合広告
17	4	3	織工女募集広告 福井毛矢町 織工会社
18	4	4	物価(福井穀物会社[明治15年1月25日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭 生糸上等 奉書紬 唐糸
19	4	4	(気温 明治15年1月25日寒暖計正午 53度(11.7℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	租税略論第四 租税ハ必ラス国民ノ許諾ヲ經
2	2	3	当市大和小学校進放小学校の大試験を行はれしが学業優等に付き其賞として書籍代金壹円を賜はりしは……
3	2	3-4	本社前編集長八田春二は昨廿六日大工町の監獄分署禁錮室より召喚に応じて腰繩に縛せられ……(裁判言渡書掲載)
4	3	1	青樓に昇りて大酔乱暴はせぬ福井新聞記者は無根の事を掲げたりと右のごとく告訴されし十等警部遊佐信景氏は去る廿三日その職を免せられたり……
5	3	1	八田春二が不幸にして筆禍に罹り囹圄不自由の人と為りしを哀悼せられ辞意懇切人を動かす見舞書を添えて毛受洪、中根牛介、島田重民の三君より金貳円同志の言々懇到を極たる慰問書各一通を添て……
6	3	1	我が越前地方は明治十一年より地租改正事件につき久しく葛藤を生して解きしが彼の有名なる杉田定一氏の奮発周旋により遂に壹万余町歩の現地反米を減少したり……此度本地の有志人民が申合せ同氏の為に一大紀念碑を建んと彼是尽力中なり……
7	3	1-2	四五日前社員の社用を帯び上阪せしものより途上の雪況を報して曰く福井市中にては略ぼ消へたりとおもはるる雪も今莊にては壹尺余りを残しそれより一里二里と歩を進め山懐なる板取、柎の木と南するに随ふて次第に多きを加へ中の河内に至ては蓋し六尺余りを積四而山々谷々尽々銀世界にして寒中の感想を生せしが夫より以南は前の有様に反対し……(雪の状況)
8	3	2	勝山通信(大渡村何某の娘殺人事件 勝山商工会議所にて編纂ある煙草改良規則を以て煙草改良会社を設立せんと前川茂兵衛島田弥右衛門笠松三四郎安田十兵衛の四氏の發起にて其筋へ出願せしに……)
9	3	4-1	投書 共之会諸君ニ告ク 在福井 不宜服田処士
10	4	2	稟告 正四位松平茂昭公海陸無御滞昨廿六日午後二時東京御着相成候旨電報相達候此段旧福井御藩士中エ広告ス 松平家々従 鈴木忠夫
11	4	2	(政談演説会 廿九日 武生曙町常眼寺ニ於テ開会ス 会主堀川利作)
12	4	3-4	物価(福井穀物会社[明治15年1月26日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭 生糸上等 奉書紬 唐糸)
13	4	4	物価(越前国坂井港[明治15年1月24日] 米四斗六升上3円15銭 菜種 徹石炭)
14	4	4	(気温 明治15年1月26日寒暖計正午 53度(11.7℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	歎情亦々愛重セサル可カラス
2	2	1	福井県令より経済分離の義に付内務卿へ伺并指令本県下越前国(敦賀郡ヲ除ク)ト若狭国并敦賀郡トハ全ク其地勢ヲ異ニスルヲ以テ両地ノ河川堤防之失費ヲ要スル甚差異アリトス……
3	2	2-3	元山町成覚寺の福井町村連合会議員は何れも非常の熱心……開会延期の十日間は余りに長しと委員戸長にも迫りたるが……いかいかな口実を考へて不参欠席を為すに比すれば雲泥万里実に人民の委託に背すと申すべき……
4	2	3-4	去る十八日禁獄期満て大工町の監獄分署より出でて人間界の人となりし某氏の物語に聞くに寛大の噂高き福井の牢屋も流石は牢屋だけありてなかなか艱難なるものになん……(例を3つ提示)
5	2	4	本社前編集長八田春二には昨日午後三時過ぎ元大工町監獄分署より寛永町の新監獄署へ護送せられたるを以て……(差入れするも却下された由)
6	2	4-1	八田が下獄を憐察つありて福井有志者九名よりとして……(見舞書を添えた金五拾銭を贈与される)
7	3	1	(廿五日日暮頃 当市佐佳枝上町松田鉄之助の対角餅屋某の壁上に貼り紙)
8	3	1	(当市尾上上町真宗光正寺の御堂の縁の下に怪しげなる者が住居している噂警察が探偵)
9	3	1-2	(佐佳枝上町大川端に無鑑札の大八車を横たえ警察へ拘引)
10	3	2	(捨鐘について)
11	3	2-3	大野通信 (商法会議所設立の件 風俗の件 )
12	3	3	勝山通信
13	3	4	阪井港通信 (自治の精神の階梯)
14	3	4	鯖江通信 (農談会)
15	3	4-1	投書 結社団結ハ主義ニ因レ 福井寓 長瀬汀起稿
16	4	2	稟告 第57号国立銀行第七而半期實際報告
17	4	4	物価(福井穀物会社[明治15年1月27日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭 生糸上等 奉書紬 唐糸 )
18	4	4	(気温 明治15年1月27日寒暖計正午 53度(11.7℃))

記事番号	面	段	記事
1	1	2-3	条約改正ノ断行ヲ望ム 上章
2	2	1-2	昨日県庁において昨年中職務勉勵につき手当として賞賜ありしは…(氏名と金額書上げ)
3	2	2	(県庁人事 福井中学校雑務掛 地理課地券掛事務取扱)
4	2	2	一昨廿七日は午前第九時の揃にて福井町村連合会関係の各戸長凡そ十八名ばかりを元山町の成覚字委員戸長会所へ招集あり…
5	2	3	当市月見町、葵町、豊町、氷川町、松影町、旭町、木田地方連合有斐小学校下の学区会議を今般その筋の認可を受け会議を開くことに本月々初に決定し、旧各町より議員一名もしくは二名宛を選挙為せしをもて…(ただ、なかなか会議が
6	2	4	当地有志者発起の牛馬病院は愈去る廿六日その筋より許可の指令相成りしをもて発起者は大に喜び立派なる新築を為し盛んに事に従はんと益々奮発あるやに
7	2	4	(八田春二の入獄 お見舞いとして金贈与 出獄まで社員が預かり)
8	2	4	丹生郡上下石田連合村会は客年十月に二十五名の議員を選定し規則を編製して官に伺ひ認可を得たりしも其後は未だ開かれずでありしが…(二十一日を初回として開会 異見を尽して討論あり 午後十一時閉会)
9	3	1	(艶名を以て本社の雑報に有名なるかの中小屋の俳優実川市蔵 福井を跡に去る廿六日大阪さして発足せしが花柳社会の悲嘆大方ならず)
10	3	4	坂井港通信 (桜谷町百番地村井藤蔵の孝行 喜宝町外四町戸長信田伝次郎氏は部内の人望に背かず奉職勉勵せるを以て…〔郡役所・県庁より表彰〕)
11	4	1	(明日明後日休刊のお知らせ)
12	4	1	投書 結社団結ハ主義二因レ(前号ノ続キ) 福井寓 長瀬汀起稿
13	4	2	率然会開会広告
14	4	4	物価(福井穀物会社[明治15年1月28日] 新米1表[4斗6升]上3円35銭 生糸上等 奉書紬 唐糸 )
15	4	4	(気温 明治15年1月28日寒暖計正午 38度(3.3℃))